

全体貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	158,361	固定負債	48,404
有形固定資産	140,758	地方債等	37,825
事業用資産	59,165	長期未払金	-
土地	35,515	退職手当引当金	4,241
土地減損損失累計額	-	損失補償等引当金	-
立木竹	-	その他	6,338
立木竹減損損失累計額	-	流動負債	4,501
建物	60,952	1年内償還予定地方債等	3,351
建物減価償却累計額	-38,896	未払金	185
建物減損損失累計額	-	未払費用	-
工作物	4,713	前受金	-
工作物減価償却累計額	-3,258	前受収益	-
工作物減損損失累計額	-	賞与等引当金	378
船舶	-	預り金	587
船舶減価償却累計額	-	その他	-
船舶減損損失累計額	-	負債合計	52,905
浮標等	-	【純資産の部】	
浮標等減価償却累計額	-	固定資産等形成分	165,602
浮標等減損損失累計額	-	余剰分(不足分)	-49,346
航空機	-	他団体出資等分	-
航空機減価償却累計額	-		
航空機減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	140		
インフラ資産	79,389		
土地	15,542		
土地減損損失累計額	-		
建物	1,765		
建物減価償却累計額	-672		
建物減損損失累計額	-		
工作物	166,148		
工作物減価償却累計額	-103,689		
工作物減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	296		
物品	8,016		
物品減価償却累計額	-5,812		
物品減損損失累計額	-		
無形固定資産	1		
ソフトウェア	-		
その他	1		
投資その他の資産	17,602		
投資及び出資金	2,089		
有価証券	1,720		
出資金	369		
その他	-		
長期延滞債権	1,258		
長期貸付金	2		
基金	14,646		
減債基金	3,047		
その他	11,598		
その他	5		
徴収不能引当金	-397		
流動資産	10,801		
現金預金	2,948		
未収金	624		
短期貸付金	1		
基金	7,240		
財政調整基金	7,240		
減債基金	-		
棚卸資産	15		
その他	-		
徴収不能引当金	-28		
繰延資産	-	純資産合計	116,257
資産合計	169,162	負債及び純資産合計	169,162

全体行政コスト計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目名	金額
経常費用	47,706
業務費用	17,020
人件費	5,988
職員給与費	4,486
賞与等引当金繰入額	365
退職手当引当金繰入額	206
その他	932
物件費等	10,213
物件費	4,821
維持補修費	281
減価償却費	5,093
その他	19
その他の業務費用	818
支払利息	354
徴収不能引当金繰入額	61
その他	403
移転費用	30,686
補助金等	20,578
社会保障給付	6,155
その他	3,953
経常収益	3,612
使用料及び手数料	2,934
その他	678
純経常行政コスト	44,095
臨時損失	189
災害復旧事業費	49
資産除売却損	128
損失補償等引当金繰入額	-
その他	11
臨時利益	2
資産売却益	-
その他	2
純行政コスト	44,281

全体純資産変動計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	116,646	166,769	-50,123	-
純行政コスト(△)	-44,281		-44,281	-
財源	43,443		43,443	-
税収等	29,031		29,031	-
国県等補助金	14,412		14,412	-
本年度差額	-838		-838	-
固定資産等の変動(内部変動)		-1,616	1,616	
有形固定資産等の増加		2,722	-2,722	
有形固定資産等の減少		-5,232	5,232	
貸付金・基金等の増加		4,013	-4,013	
貸付金・基金等の減少		-3,119	3,119	
資産評価差額	15	15		
無償所管換等	434	434		
他団体出資等分の増加			-	-
他団体出資等分の減少			-	-
比例連結割合変更に伴う差額	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
本年度純資産変動額	-389	-1,167	778	-
本年度末純資産残高	116,257	165,602	-49,346	-

全体資金収支計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

(単位:百万円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
業務支出	42,393
業務費用支出	11,707
人件費支出	5,820
物件費等支出	5,132
支払利息支出	354
その他の支出	401
移転費用支出	30,686
補助金等支出	20,578
社会保障給付支出	6,155
その他の支出	3,953
業務収入	46,096
税込等収入	28,582
国県等補助金収入	13,909
使用料及び手数料収入	2,947
その他の収入	658
臨時支出	60
災害復旧事業費支出	49
その他の支出	11
臨時収入	22
業務活動収支	3,665
【投資活動収支】	
投資活動支出	6,443
公共施設等整備費支出	2,674
基金積立金支出	3,425
投資及び出資金支出	0
貸付金支出	345
その他の支出	-
投資活動収入	3,317
国県等補助金収入	482
基金取崩収入	2,467
貸付金元金回収収入	347
資産売却収入	21
その他の収入	-
投資活動収支	-3,126
【財務活動収支】	
財務活動支出	5,169
地方債等償還支出	5,169
その他の支出	-
財務活動収入	4,870
地方債等発行収入	4,870
その他の収入	-
財務活動収支	-298
本年度資金収支額	240
前年度末資金残高	2,189
比例連結割合変更に伴う差額	-
本年度末資金残高	2,429
前年度末歳計外現金残高	512
本年度歳計外現金増減額	6
本年度末歳計外現金残高	519
本年度末現金預金残高	2,948

【様式第5号】

全体附属明細書

1. 全体貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A) + (B) - (C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	本年度末 減損損失累計額 (G)	本年度減損額 (H)	差引本年度末残高 (D) - (E) - (G) (I)
事業用資産	100,684,155,340	3,717,781,399	3,082,931,343	101,319,005,396	42,153,684,516	1,366,039,731	-	-	59,165,320,880
土地	36,624,259,058	489,501,083	1,598,911,820	35,514,848,321	-	-	-	-	35,514,848,321
立木竹	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	59,221,010,820	1,022,269,845	1,359,883,993	58,883,396,672	38,506,199,907	1,127,051,887	-	-	20,377,196,765
建物付属設備	553,454,204	1,514,718,459	-	2,068,172,663	389,662,257	112,745,270	-	-	1,678,510,406
工作物	4,120,452,618	626,082,772	33,835,650	4,712,699,740	3,257,822,352	126,242,574	-	-	1,454,877,388
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	164,978,640	65,209,240	90,299,880	139,888,000	-	-	-	-	139,888,000
インフラ資産	181,920,698,742	3,119,186,350	1,289,099,786	183,750,785,306	104,361,407,794	3,317,143,239	-	-	79,389,377,512
土地	14,057,214,165	1,791,290,140	306,981,736	15,541,522,569	-	-	-	-	15,541,522,569
建物	1,931,339,354	-	166,210,250	1,765,129,104	672,221,504	50,408,297	-	-	1,092,907,600
工作物	165,801,344,383	1,035,162,524	688,743,840	166,147,763,067	103,689,186,290	3,266,734,942	-	-	62,458,576,777
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	130,800,840	292,733,686	127,163,960	296,370,566	-	-	-	-	296,370,566
物品	7,924,185,788	138,423,889	46,862,755	8,015,746,922	5,812,058,905	409,584,777	-	-	2,203,688,017
合計	290,529,039,870	6,975,391,638	4,418,893,884	293,085,537,624	152,327,151,215	5,092,767,747	-	-	140,758,386,409

【全体財務書類 注記事項】

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的以外の有価証券

市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

(売却原価は移動平均法により算定)

② 出資金

市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 貯蔵品……………先入先出法による低価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 8 年～50 年

工作物 8 年～60 年

物品 0 年（非償却）～20 年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

③ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

過去 5 年間の平均不納欠損率または個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

期末自己都合要支給額から、兵庫県市町村職員退職手当組合への加入時以降の負担金の累計額から既に本市職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、同組合における積立金額の運用益のうち本市へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

③ 賞与等引当金

翌年度 6 月支給予定の期末手当、勤勉手当等及びそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 全体資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）

なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象会計については、税抜方式によっています。

2 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務に対し、保証を行っています。

団体（会計）名	確定債務額	履行すべき額が確定していない 損失補償債務等		総額
		損失補償等引当金 計上額	貸借対照表 未計上額	
兵庫県信用保証協会	0 百万円	0 百万円	72 百万円	72 百万円
計	0 百万円	0 百万円	72 百万円	72 百万円

3 追加情報

(1) 連結対象会計

会計名	区分	連結の方法	比例連結割合
国民健康保険事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
介護保険事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
後期高齢者医療事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
と畜場事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
病院事業会計	地方公営事業会計（公営企業）	全部連結	—
水道事業会計	地方公営事業会計（公営企業）	全部連結	—
国民宿舎事業会計	地方公営事業会計（公営企業）	全部連結	—

連結の方法は次のとおりです。

① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、前処理場事業特別会計の3会計は、地方公営企業法の財務規定等の適用に向けた作業に着手している（平成30年度までに着手かつ集中取組期間内に当該規定等を適用）ため、連結対象外としています。

なお、3会計の地方債残高は、下水道事業特別会計 24,256 百万円、農業集落排水事業特別会計 3,343 百万円、前処理場事業特別会計 4,685 百万円、それぞれの会計に対する一般会計繰出金は、下水道事業特別会計 2,784 百万円、農業集落排水事業特別会計 379 百万円、前処理場事業特別会計 788 百万円であり、同繰出金は行政コスト計算書の「その他（移転費用）」、資金収支計算書の「その他の支出（移転費用支出）」に含めて計上しています。

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間を設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない会計と出納整理期間を設けている会計との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

貸付地の一部及び売却予定地としている公共資産

イ 内訳

事業用資産 684 百万円

土地 684 百万円

平成31年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

売却可能価額は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律における評価方法によります。